

# JaLCメタデータは DIASの役に立つか？

真板英一

[maita.eiichi@nies.go.jp](mailto:maita.eiichi@nies.go.jp)

2015-06-23

# JaLCのサービス・主要2種

## DOIの登録

- 永続的短縮URL、のようなもの
- 便利ではあるが、付加価値を生みにくい。

## JaLCメタデータの提供

- データ所在情報DB
- 研究データのカタログ
- DIASにとって利用価値があるのでは？

# 所在情報の重要性

- DIASプロジェクト初期、国内研究機関にアンケート調査
  - どこに、どういうデータが、どれだけあるか
  - DIAS DB 整備の基本情報となる
- 所在情報は引き続きDIASにとって重要
  - 特に運用フェイズでは、ユーザのニーズにより良く応えなければならない。
  - 最新の情報を確保する算段を立てておく必要。

# JaLCメタデータの特徴

- 低コスト
  - 普通は、費用が掛かる(アンケート、聞き取り等)
  - JaLCの場合、逆に、情報提供者が会費を払ってメタデータを出す
  - (欲しい情報が手数料と一緒に手に入る、夢のような状況)
- 最新
  - データの更新情報など、情報提供者が随時行う(ことが期待される)

# DIASでの活用法

たとえば

- 俯瞰検索システムから検索できるようにする。
- DB整備の基礎情報にする。
  - ユーザの要望を受けて不足データを探す時
- (他に無いか後で考える)

# そのためには

- JaLCの対応
  - JaLCメタデータにできるだけ詳細な情報を記入するように啓発、教育してくれるか
  - JaLCメタデータを使って、どんなサービスをするつもりか
- DIASの対応
  - JaLCへの要望、サービス開発への協力
  - DIASが正会員となって、準会員を集め、独自にメタデータ収集しても良い。(その場合、準会員から手数料を徴収できるかも知れない)